

Global Startup EXPO ; 2026

提案書

提案者：大阪府・大阪市

(実行委員会参画者：大阪府・大阪市・京都府・京都市・兵庫県・神戸市・公益社団法人関西経済連合会・大阪商工会議所・一般社団法人関西経済同友会・関西イノベーションイニシアティブ（公益財団法人都市活力研究所）)

2-1. 全体ビジョン

- 2025年大阪・関西万博において実施されたGSEは、「ディープテック」を軸とし、これまでのスタートアップイベントとは一線を画した取組みとして実施された。
- 世界有数の技術基盤を有する日本、とりわけ、世界トップクラスの大学や研究機関、高い技術力を持つグローバル企業が集積する大阪・関西で開催したこと、我が国のディープテックの実力を国内のみならず、海外にも発信し、国内外の起業家、投資家の交流を通じて、世界が改めて、日本のスタートアップの実力を再認識する機会となった。それと一緒に、開催地である大阪・関西としても、「ディープテックのフロンティア」としての認知度向上にもつながった。
- GSE2026については、その大阪・関西が、万博の理念を確実に継承し、我が国最大級のディープテックの「ナショナルイベント」として位置付け、より発展した形で実施する。その実施にあたっては、以下の3つをビジョンの柱に据える。
 - ・バイオ・ヘルスケア、フュージョン、量子など「国家戦略技術領域」について京阪神のディープテックの厚みを基盤とする。
 - ・全国のスタートアップ拠点とも連携し、他都市が強みとする領域は連携を通じて、その得意とするディープテック分野の大学・スタートアップを結集し、地域の枠を超えて、日本のスタートアップの層の厚さや種類の多さ、多様性などを発信。国内外の参加者に共創を促す。
 - ・大阪・関西万博で培ったネットワークと経験を活かし、国・経済界・地元自治体で連携して構築中の「万博技術実装化センター（仮称）」の取組みとも相乗効果を發揮する。
- 「事業化・社会実装・ルールメイク」をコンセプトに、我が国の代表的な研究シーズと先端の情報や知見を持つ海外トップクラスの起業家、投資家などを掛け合わせ、国内外の方々を惹きつける強みとして確立する。それを2027年以降も実施していくことにより、継続的な来訪と投資や協業につなげることで日本のエコシステムのグローバル化と、スタートアップの海外進出を促進していく。



2-2. イベント概要・KPI (GSE2026全体構成)

GSE2026を「ナショナルイベント」に位置付け、その名のもとで、世界に対して我が国のディープテックシーズの実力・層の厚さを発信します！

▶バイオ・ヘルスケア・フュージョン・量子などの「国家戦略技術領域」において、世界に通用する強みをもつ関西のディープテックを基盤に置きながら、
国内の他都市が強みとする領域については、当該都市との連携を通じて総力を結集します

▶大阪・関西万博を通じて構築した国内外との関係性・ネットワークを活用し、イベント前後も含めたプロモーションやフォローアップなども展開することで、
グローバルなエコシステムの構築を図ります

【来場者：5,000人以上（うち海外20%以上）】

各拠点都市のイベントで
GSE2026をPRし、機運・期待
を高めていく。

【京都】
スタートアップ
カンファレンス
「IVS」



【東京】
グローバルCVC
カンファレンス



【大阪】
TechOsaka
Summit



その他、愛知、福岡など全国の
自治体と連携

Japan Innovation Week (10月5日(月)～3日間 ※今後国とも調整)

→ フォローアップ

Global Startup Expo2026

バイオ/ ヘルスケア

Treg細胞の可能性と
実用化の最前線

量子/宇宙/ フュージョン

・量子技術で加速する核融合エネルギーの実用化
・宇宙開発の未来

AI/ロボット/ 半導体

・AIエージェントとフィジカルAIがもたらすゲームチェンジ
・半導体の微細化限界と新技術

全国拠点都市のディープテックSU・支援機関と協働

AI（東京）/ロボット（つくば）/宇宙（愛知）/半導体（九州）など

合同ネットワーキング

大阪市イベント

サイドイベント 【P.5参照】

中之島クロス/京大iPS細胞研究所によるiPS細胞技術、大阪大学量子情報・量子生命研究センターによる量子技術の最前線等をテーマに、専門的なサイドイベントを多数開催

パネルディスカッション

ビジネスマッチング

ピッチイベント

セミナー

等

専門的なネットワーキング

オンラインツアー 【P.6参照】

ノーベル賞を生み出した拠点等、海外でも注目される「国家戦略技術領域」に関わる研究施設を視察（関西の特色である観光や食の要素も加える）

・国内研究シーズと海外経営人材のマッチング、海外進出支援

・ビジネスマッチング・視察を通じた海外SU・VCの活動定着

・官民実証推進チーム等による社会実証の支援

【P.8参照】

参 加 者

2-2. イベント概要・KPI (GSE2026 テーマ・基調講演・セッション)

全体構成の基本コンセプト（P3：「関西のディープテックを基盤」「他都市との連携」「大阪・関西万博を通じて構築した関係性・ネットワークの活用」）を軸にした基調講演やセッションを展開し、各分野でのこれまでの取組み、今後の可能性のほか、必要な政策（フュージョン）などもお示します！

【登壇者100名以上】

※掲載する連携自治体は予定先を記載

※造船、防災・国土強靭化、湾岸ロジスティクス、海洋、防衛産業についても、関西・全国の強みを取り入れ企画を立案

【バイオ・ヘルスケア、合成生物学、創薬・先端医療、 フードテック】

万博のテーマを引継ぎ、再生医療をはじめとする世界屈指の研究・医療機関と製薬等大企業の産業基盤、産学官医の有機的なネットワークをもとに世界トップクラスの講演を企画、招聘。

神奈川等と連携

【量子】

量子ソフトウェア研究拠点、光量子センシング教育研究センター、関西光量子科学研究所等の先端情報・ネットワークを活用するとともに、ソフトウェア研究の強みも活かし、国内外の量子スタートアップを集めたその活用、実用化を議論。

東京等と連携

【半導体・通信、コンテンツ】

半導体関連企業が多数所在し、同人材育成の強みを持つ関西のマーケット魅力をもとに、他都市と連携して国内外のトップ企業を招き、半導体・通信×他分野をテーマに企画、招聘。万博でも活用されたIWONに日本のコンテンツを組合せたデモンストレーションを実施。

北海道、広島、熊本等と連携

愛知、東京、茨城等と連携

【上記以外のテーマ】

【オープンイノベーション／アントレプレナーマインド】

海外トップティアのVC、CVCのスタートアップ投資、オープンイノベーションの取組みをテーマに扱い、国内のVC、大企業の参加を促進

【AI・先端ロボット、デジタル・サイバーセキュリティー】

大阪に在籍するトップクラスの研究者や海外CVCコミュニティ等の海外トップティアの先端情報・ネットワーク及び、グローバル市場でも高い存在感を誇る我が国の先端ロボットの強みをもとに企画、招聘。

茨城等と連携

【フュージョンエネルギー・資源・エネルギー-安全保障・GX、マテリアル】

日本のフュージョンの第一人者および関西のスタートアップが参画するJ-Fusionのネットワーク等を用いてフュージョンの政策、方向性を議論。また万博で扱われたGX技術の推進に向けた企画、招聘。

東京等と連携

【宇宙、航空】

大阪に在籍する宇宙の第一人者の知見、関西の宇宙機、ロケットを支える重工・素材・計測に関する企業や大学研究の活動に加え、大阪・愛知連携協定のもと同分野の愛知県の強みを組合せ、国内外の関連企業を集め。

愛知、東京、茨城等と連携

【Web3.0／ブロックチェーン】

日本の国際金融都市の活動推進の視野に、次世代のプラットフォームWeb3.0のビジネスチャンスを共有する。

※本提案においては、ノーベル賞受賞者をはじめとする各分野における代表的な研究者、起業家等のネットワークを活用し、基調講演、セッション登壇者を確保すること。また、上記分野で関西に数多くの関連企業（大企業、スタートアップ）があることを国に説明。

2-2. イベント概要・KPI (GSE2026 フロアレイアウト、コンテンツ)

大阪の都心・イノベーションの中心地の「うめきた」を舞台に、我が国のディープテックの魅力を国内外の方々に訴えることで、国内外から多くの方々の参加を促し、より多くのビジネス機会を創出します！

【ブース展示やマッチング等を通じて支援を行うスタートアップ：150件以上、5,000人以上の参加、30%以上の英語セッションの実施】

機関・機会

（）

マッチング

【ビジネスマッチングの促進】

<ブース展示やマッチング等を通じて支援を行うスタートアップ：150件以上>

- 国内トップクラスのVCの活動と連携し、有力なスタートアップの開拓、GSEに向けたトレーニングを実施
- 東京、関西をはじめ全国主要都市で国とも連携し海外VC、CVCを招いたプロモーションイベントを実施し、海外VC、スタートアップの連携候補となる国内事業会社の参加を促進（2025年実績あり）
- イノベーションウィーク内の各イベント共通のオンラインプラットフォームを用意し、幅広い参加者間のビジネスマッチングを促進
- 入場チケットの有料化等を通じて本イベントの目的に沿った対象者の参加を促進
- 分野別のNEDO推薦、J-Startupなどディープテックのグローバルピッチイベントを実施（登壇する海外VC、CVC等が審査）、受賞者には実装化に向けた支援を実施
- 分野別で業界団体等による大型ブースを用意し、関係者・関心者の交流を促進。会場内のビジネスマッチング専門のアテンダントを確保
- 大学発スタートアップ支援プラットフォーム(NINE-JP)と連携し、全国の大学発スタートアップ、研究シーズを披露とともに、海外経営人材候補とのマッチング促進
分野を跨いだ合同ネットワーキング(右下図)の実施により、海外参加者へのおもてなしを提供するとともに、参加者間の交流を促進
- イベント前後にオンラインツアーを実施し、有識者との意見交換、現地大手企業・スタートアップとのビジネスマッチングを促進。（実行委員会、連絡会を通じて関係者間で調整）

【コアイベント／主要連携イベント 会場イメージ】



【収容数】

ステージ①：500名、
ステージ②：600名、
ステージ③：120名、
ステージ④：120名、
ピッチ会場：120名

ブース展示：（合計75社+6団体）／日
(割合) 関西25、全国25、海外25／日

分野別の大型ブース・
交流スペース6

【国内外からの参加促進】

<5,000人以上（20%以上海外）の参加、30%以上の英語セッションの実施>

■万博・グローバル拠点都市

万博やグローバル拠点都市の活動等で培った海外機関とのネットワークを用いた海外スタートアップの参加

■海外CVCコミュニティ

世界最大級のCVCコミュニティと連携し、海外CVCの参加を促進

■海外インパクトのあるアンバサダー

ノーベル賞受賞者等世界的なネットワークを持つ各界の第一人者をアンバサダーとして起用し、そのグローバルサイエンスネットワークを通じて海外の参加を促進

■外国人起業家等の呼び込み

- ・ノマドワーカー等海外のイノベーション関係者の参加を促進
- ・日本で起業をめざす外国人起業家を支援するプログラムへの参加者等の取り込み

■多数のサイドイベントの実施

- ・京阪神を中心とした多数のサイドイベントによりGSE2026の活動機運を高めるとともに国内外の参加を促進。
相乗効果を高めるため実行委員会、連絡会を通じて関係者間で調整。

【合同ネットワーキング イメージ】

2025年度Global Startup Crossroads-Osaka (GSCO) で分野を跨ぐ合同ネットワーキングを実施
(GSE、GSCOから500名の国内外スタートアップ関係者が参加)



2-2. イベント概要・KPI (サイドイベント)

関西の中心地・イノベーションの中心地である「うめきた」を舞台に展開します！

【GSE2026会場のエリアマップ、サイドイベント展開イメージ】

「うめきた」エリアを、関西スタートアップエコシステムの起爆剤となるような世界に誇れる国際的な都市空間に位置づけ

2025年度のサイドイベント（例）



うめきた近隣でディープテック、グローバルに関するサイドイベントを開催

○海外グローバルスタートアップイベントと連携したイベント

South Summit (スペイン)、Foster Bridge (韓国)、EDCON (イーサリアム開発団体 (2025実績有)) 等と調整中

○国家戦略技術領域の各分野に特化したイベント

各分野を代表する国内研究機関等と連携し、同ネットワークを活用したサイドイベントを実施。

○海外アクセラレーターと連携したイベント

未来医療の世界的な拠点である「中之島クロス」で海外アクセラレーターによる国内外スタートアップのピッチイベントを実施。

○国内外CVCコミュニティと連携したイベント

国内大手企業の新規事業担当者が集まるイベントを実施。

京都・神戸等全国でも多数の関連イベントを開催

2-2. イベント概要・KPI（オンラインツアー（ディープテックの強み））

イベントのメインとする「うめきた」のみならず、「関西一円」を舞台に、GSE2026を成功に導きます！

バイオ・ヘルスケア

- 国立循環器病センター/医療基盤・健康・栄養研究所
- 大阪大学免疫学フロンティア研究センター
- 彩都ライフサイエンスパーク
- 中之島クロス（未来医療国際拠点）
- 京都大学iPS細胞研究所
- 京都リサーチパーク
- 医薬基盤研究所
- 神戸大学先端バイオ工学研究センター
- 神戸大学バイオものづくり共創拠点
- 神戸医療産業都市 等

関西における代表的な研究機関・施設等（一部）



フュージョン・グリーン

- 大阪大学レーザー科学研究所
- 京都大学物質細胞統合システム拠点
- 京都大学エネルギー理工学研究所
- 神戸大学水素・未来エネルギー技術研究センター
- 大阪公立大学スマートエネルギー研究所
- 大阪公立大学全個体電池研究所
- 水素エネルギー共同研究センター
- 技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター
- 地球環境産業技術研究機構 等

宇宙

- 惑星科学研究中心（CPS）
- 京都大学宇宙学際研究グループ
- 京都大学生存圏研究所
- 大阪公立大学航空宇宙工学科
- 計算科学研究中心（R-CCS）
- 立命館大学 宇宙地球探査研究センター（ESEC）等

AI・先端ロボット

- 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）
- けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）
- 大阪大学みらい創発hive
- 理化学研究所（RIKEN）
- 計算科学研究中心（R-CCS）
- ドイツ人工知能研究センター 日本研究所
- iRooBO Open Technology Center
- HCI ROBOT・AI LAB 等

量子

- 産業技術総合研究所関西センター
- 大阪大学量子情報・量子生命研究センター（QIQB）
- 京都大学 光量子センシング教育研究センター
- 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所
- 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学領域
- 理化学研究所 計算科学研究中心 等

半導体・通信

- 京都大学フォトニック結晶レーザー研究所
- 京都市産業技術研究所
- 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）
- 大阪大学 産業科学研究所
- 大阪産業技術研究所
- 京都大学高等研究院
- 立命館大学 VLSI（大規模集積回路）センター
- 半導体応用研究センター（RISA）等

2-2. イベント概要・KPI（海外ネットワーク（グローバルの強み））

大阪としては、ひょうご・京都とともに、令和2年度以降、「グローバル拠点都市」として、様々な海外のVC等とのネットワークを形成してきたことに加えて、大阪・関西万博を通じて、多くの国・地域との新たな関係性も構築。そうした「強み」を活かし、GSE2026をグローバルに展開します！

関西域内関係機関、有識者のネットワーク

90 +

自治体、大学、経済団体、支援機関による姉妹都市、提携、海外拠点開設等を通じた海外ネットワークおよび有識者のもつ海外エコシステム関係者との繋がりを用いた招聘者、参加者の開拓

【一例】

- OsakaInnovationHubで海外20の国、都市、官民支援機関と関係を構築
- けいはんな学研都市が海外イノベーション支援機関（28機関）とMOU締結
- 国際電気通信基礎技術研究所で42のグローバルイノベーション中核連携機関とのネットワークを構築
- 経済団体による海外商工会議所、各国経済団体のネットワーク
- アンバサダー（候補）が持つ海外エコシステムのネットワーク
- Osaka Landing Pad（阪急）で海外スタートアップ、VC、アクセラレーター等を誘致
- ABCプラットフォーム（関経連）でアジアの経済団体と協力して、各国の企業・団体間における人材・技術・サービス等の連携を促進
- GLOBAL INNOVATION FORUM OSAKA（大商）による海外展示会への出展支援や、海外展開に関するセミナーの開催、情報発信等
- 海外アクセラレーター（500、Plug&Play、Rainmaking Innovation、MedTechActuator、CIC等）を招致
- 関西のエコシステム形成に参画するメガバンクの全世界に広まるネットワークを活用

海外VC、アクセラレーター等との連携

80 +

グローバル拠点都市形成の活動で築いた海外VC、アクセラレーター等とのネットワークを通じた招聘者、参加者の開拓

グローバルサイエンスネットワーク

各分野の第一人者、海外でも注目される研究者のグローバルサイエンスネットワークを通じた招聘者、参加者の開拓

万博開催を通じたネットワーク

120 +

- 大阪・関西万博を契機に、企業視察等をワンストップでサポートする窓口を開設。
海外視察団等に対し、ビジネスイベント（セミナー・商談会等）の開催等を支援。
 - 総問合せ数：1,119件 府市で海外からの視察受入に繋げた件数：232件（2,692名）
- 英国グレーター・マンチェスター合同行政機構との姉妹都市提携など、
主に経済交流を促進することを目的として32の国・都市等とMOUを締結。
- 海外公的機関主催のセミナー等の共催・広報協力等を実施。
 - 大阪府市ビジネス支援実績：延べ510件
- GSE関連イベントを通じて海外VC、アクセラレーター等の活動を招致、ネットワークを構築

2-3.ディープテック・スタートアップの創出、成長、海外展開に向けた活動

GSE2026をイベント単体の活動とせず、「エコシステム構築」を目標に定め、大学の研究シーズの発掘・披露やアクセラレーション等を内容とするプレ活動、国内有力の研究機関の視察、ノーベル賞受賞者、関連企業との意見交換を通じた共創・事業連携の促進等を内容とするフォローアップ活動も展開します！

【フレ活動】

グローバルマインド醸成、参加促進

- ・全国各県と連携したプロモーションイベント等によるグローバルマインド醸成、グローバルピッチイベントに向けた国内セレクション
- ・国内トップクラスのVCと連携した海外に通じる有力なスタートアップの開拓
- ・NINE-JPと連携した全国の大学発スタートアップと研究シーズの披露
国内初

海外進出前の伴走支援等

- ・海外アクセラレーター等と連携した、海外向けのピッチ資料のブラッシュアップ、プレゼンテーション強化
- ・バイオ、ヘルスケアを対象としたCOO人材育成プログラム
国内初
- ・VIVATECH等海外展示会を通じたマーケティング支援

実装化機能の成果の披露

- ・万博で披露された技術の実装化における成果や進歩を国内外に発信
国内初

GSE2026

国内外のスタートアップ、VC、事業会社
に多様な交流・成長機会を用意

- ・分野別のグローバルピッチコンテスト
- ・海外経営人材とのマッチング
- ・分野別のマッチングブースの確保
- ・国内大手企業と国内外のスタートアップの
マッチングに向けたアテンド体制確保
- ・全国のディープテック関係機関を
視察先としたオンラインツアー
- ・分野を跨いた合同ネットワーキング

【フォローアップ活動】

海外進出に向けた支援

- ・関西独自のグローバルピッチ、海外展開支援プログラム及びJETRO GSAPを通じたスタートアップの海外進出支援
- ・関西で活動する海外VC等による支援プログラム
- ・ライフサイエンススタートアップに対する海外マージョンプログラム
国内初
- ・国内外薬事承認に対応したAI創薬支援プログラム
国内初
- ・国内研究シーズと海外経営人材のマッチングで生まれた
スタートアップの事業化支援

海外SU、VC活動定着の支援

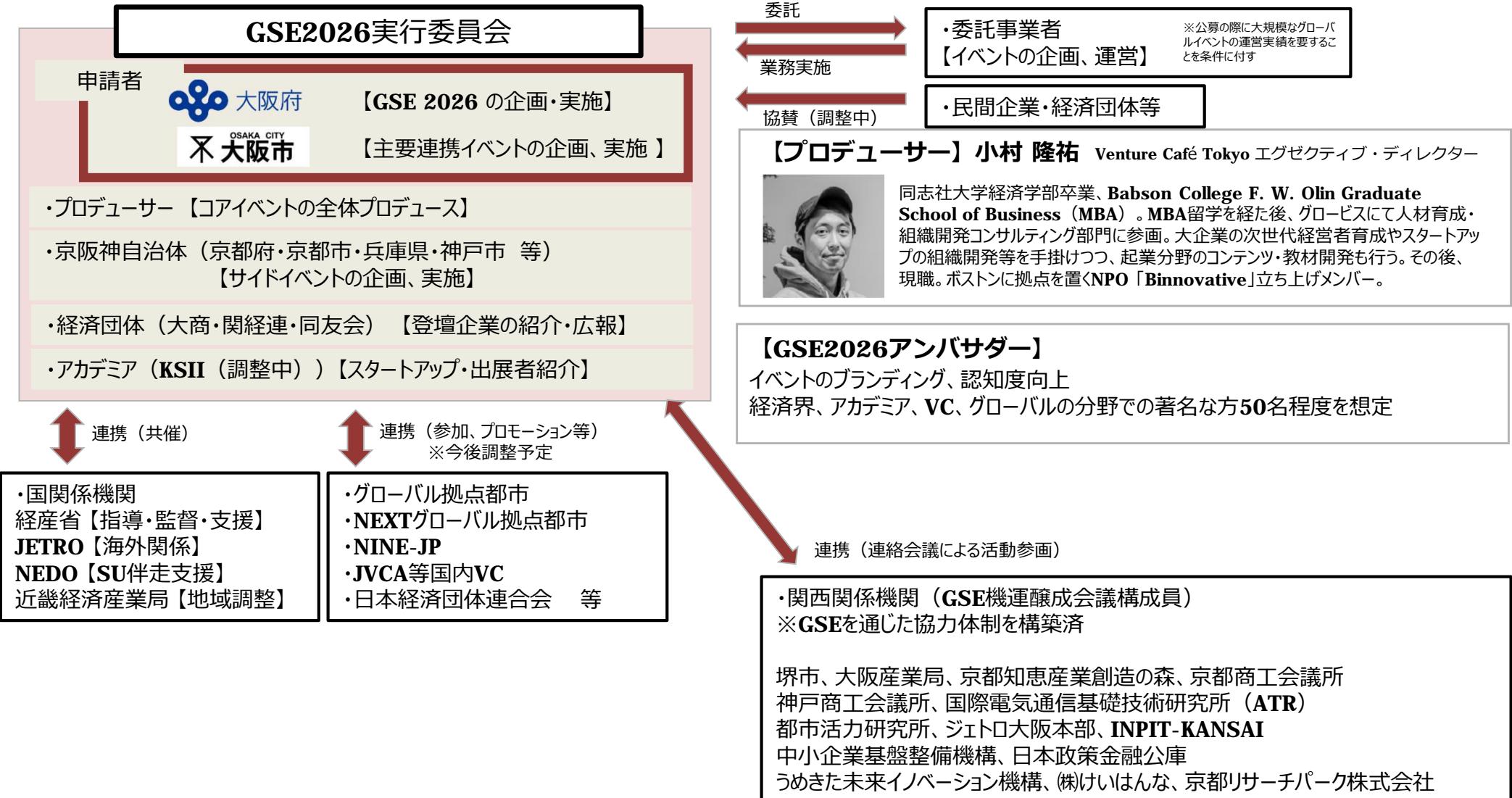
- ・巨大テック企業も参画する世界最大級のグローバルCVCコミュニティの活動招致による国内CVCの活動促進
国内初
- ・国内有力の研究機関の視察、ノーベル賞受賞者、関連企業との意見交換を通じた共創、事業連携
国内初

実証、実装化に向けた支援

- ・ピッチコンテスト受賞者に対し、実装化機能による大阪・関西での社会実装を支援
国内初
- ・官民実証推進チーム等による国内外スタートアップの社会実証を支援
- ・関西インキュベーションプログラム「起動」を通じた国内大手企業等との協業による社会実装、事業化・成長支援

2-3. 実施体制（実施体制（実行委員会／プロデューサー）

京阪神を中心とした実行委員会を軸に、GSE2025で既に協力関係を構築している関西の関係機関、国、および全国各都市と連携。また全国のグローバル拠点都市、世界の主要都市とのネットワークを持つ小村氏をプロデューサーに迎え入れ、各界の第一人者をアンバサダーとして任命することで、GSE2026を成功させる。



2-3. 実施体制（実施体制（過去実績）

大阪は、GSE2025にあわせて大規模なグローバルスタートアップイベントの開催実績があります。これまでの経験を糧に、GSE2026を成功に導きます！

» グローバルスタートアップイベント開催実績（2025年度）



ライフサイエンス、カーボンニュートラル、デジタル（AI/Web3.0等）をテーマに多彩なGSEの関連イベントを開催。世界的なアクセラレーターによるグローバルピッチイベント、ブロックチェーン開発者主催のグローバルイベント等を実施。

■ 開催概要

主催: 大阪府 経済団体等と共に多彩なイベントを開催

※実績数値には右記イベントを含む

参加者	展示	海外招聘者数	サイドイベント	セッション数	英語セッション比率
6,550名	257社	126名	15	85 内 英語63	74%

Tech Osaka Summit 2025

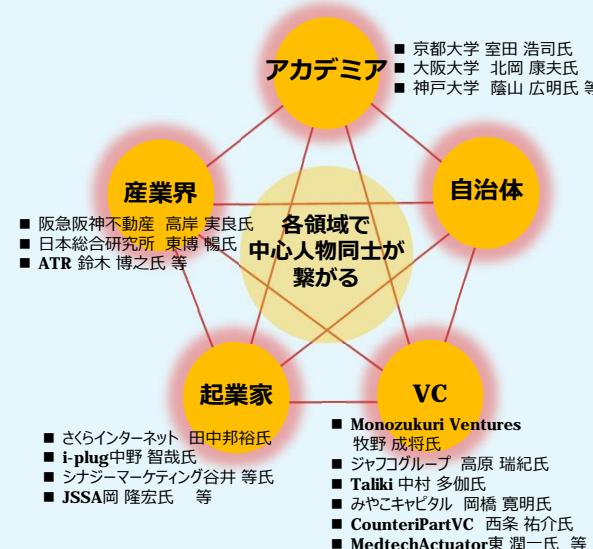
■ 開催概要

主催: 大阪市、大阪産業局、U-FINO、JETRO大阪、都市活力研究所

参加者	展示	海外招聘者数	サイドイベント	セッション数	英語セッション比率
3,500名	170社	10名	13	9 内 英語5	55%

» 関西のスタートアップ・エコシステム

京阪神の3都市がそれぞれ自立したエコシステムを推進。関西広域で連携し、地域が強みとするディープテックを軸にスタートアップと産学公金の間で、密なコミュニケーションが取れる関係性を構築。万博、GSE、IVS等の国際イベントや海外機関等との連携を通じて国内外の投資を呼び込み、グローバルに活躍するスタートアップを輩出。



» 海外展開に関する支援状況

- 500、Plug&Play、Rainmaking Innovation、MedTechActuator、Antler Ibex、Berkeley SkyDeck、BioLabs、Counter Part VC等 海外アクセラレーター、VCの活動招致による支援
- OIH GET IN THE RING、けいはんなKGAP、京都リサーチパークHVC Kyoto、神戸医療産業都市KLSAP、兵庫・神戸SDGs CHALLENGE等地域独自の海外進出プログラム、グローバルピッチイベントの開催
- KSACはじめ各機関による海外拠点の開設、海外機関とのネットワーク構築及びDeep Tech Frontier Kansaiによる情報発信支援

海外進出スタートアップの輩出実績（一例）

- Thinker:** 2024年 Unistop Tech Pte. Ltd. と基本合意書締結
- EX-Fusion :** 2023年豪州子会社設立、EQT Foundationから資金調達
- Shinobi Therapeutics :** アメリカ拠点設立・アメリカVCから資金調達
- RUTILEA :** サウジアラビアVCから資金調達
- Godot :** オーストラリアに研究開発拠点